

## 令和3年度の事業報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人やまびこクラブ

### 1 事業の成果

今年度のこども発達支援事業所さくら（児童発達支援事業）は、コロナ禍2年目となる今年は、感染予防とともにいかに子どもの発達を支援する保育内容を提供できるかが重要となってきました。昨年は、コロナの感染を気にするあまりに利用を控える保護者も多かっただけに、今年は違った価値観を保育内容に盛り込みながら、保護者への対応にも安心感を担保することを心がけていました。

コロナの感染には、細心の気遣いをしながらの保育を1年間通したおかげで、当施設での感染者を1人も出すことはありませんでした。

今年度の利用幼児の特徴は、年中以下の子が多いことと他の施設（こども園）を利用しながらさくらを併用するケースが多く、じっくりと子どもへの支援ができる反面、他施設との連携が重要となることが挙げられます。子ども達の発達の状況を見ながら幼稚園や保育園等の移行への見極めが大切になったことと保護者との子どもたちの発達状況を共有することが求められた1年でした。

**放課後デイサービスさくら（放課後等デイサービス事業）**は、延べ2,482名の児童が利用してくれました。コロナ禍ということで、感染予防を徹底しながら子どもたちのニーズや支援に的確に対応できるように心がけてきました。しかし、密になることを避けることやおもちゃ等の共有ができないことなど子ども達には理解できないこともあるだけに個々の満足度を高められるような対応を考えていました。

放課後等デイは、小中高校生が利用できるサービスだけに小学校から利用すると最長12年の利用となってくる。その12年間で大きな変化が見られる。身体的にも行動的にも変わってくるだけに支援方法や対応の変化が求められてくる。その変化をしっかり見極め、成長への支援をしていかなければならない。

保護者に対しても学校とデイサービスで連携しながら、難しい成長期での子育てをサポートしていきたいものです。

**地域活動支援センター事業**は、9名の登録者が必要に応じて利用していただいている。地活として障がいのある方にたいして、日中活動の提供が主たる目的があります。障がいの種別や程度によって、活動内容を変えて支援するように考えていたが、身体的に最重度の方でも「働きたい」「作業したい」という気持ちが強いようでクッキー作りや手作業をやっている時の方が表情も良く、意欲的である。

重度の障がいがあれば仕事ができないだろうと私たちの観念が強かったり、思い込みで処遇を考えてしまう傾向が本当に彼らの気持ちを代弁しているのだろうか、その時々で見極めることが大切だと考えさせられる。

人として学校を卒業し、社会に出れば有用感を感じながら生活していくことが何よりも大切で、障がいがあっても変わらないものだと感じさせられる。

**児童館及び児童クラブ事業**では、青江小ひまわり児童クラブで、年間延べ5,028名、千怒小わんぱく児童クラブで、年間延べ5,249名、合計10,277名、1日平均35名の児童を預かり、児童クラブの運営ができていることに感謝したいと思います。

1年を通して、コロナウイルス感染に気にしながらの児童への見守りを余儀なくされました。利用児童のうち数名の感染者は出たものの、感染拡大することなく水際対策が奏功したと考えます。利用児童の様子としては、低学年の利用が顕著となり、高学年になれば、地域の社会体育に参加したり、留守番ができるようになり、仲の良い者同士で遊ぶこともできるようになり、児童クラブサービスを利用する必要のないケースが多くなりました。とても健全で、保護者にも子育てへの余裕や我が子の成長を感じることに繋がっていると感じています。例年と同様の活動が主となり、新たな活動ができていない現状が課題となっています。少子化という状況の中、地域

社会のニーズを把握できていないことが大きな要因と考えています。

児童館での活動として津久見市の現状では、3歳以上の幼児施設の利用率は高く、0～3歳のこども園等を利用していない家庭は、市内の子育て支援センターを利用していたりして、就学前の子育て支援は十分に足りていると言える。そこで、児童館の必要性や意義を考えながら、今後の活動に生かしていかなければと考えます。今のところ、市の健康推進課と幼児教室を協同で開催することで児童館の必要価値は維持できていると思われまますます少子化と進んでいる津久見での子育て支援のサービス提供事業所として、社会状況を見極めながら、地域に貢献できる活動を継続していきたいと考えます。

**地域貢献活動**としては、コロナ禍の中で、人が密になるような活動や行事が自粛されているだけに、以前やっていたフォーラムや地域への啓発活動も自粛しているだけに地域貢献活動の実施については、難しい状況にあります。ただ、コロナ後のことも考えながら、企画や仲間作りに励んでいきたいものである。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した 事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従業者の人数	(D) 受益対象 者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位：千 円)
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	児童発達支援事業 放課後等デイサービス事業 障がいのある子どもへの療育の提供及び保護者に対して子育て支援 共同生活援助事業 障がいのある人の地域生活の 地域生活支援事業 地域活動支援センターを開設し、利用者の日中活動支援や学習支援及び就労支援など利用者のニーズに基づいて活動する。	(A) 4月1日から翌年3月31日まで開設 (B) ・こども発達支援事業 主たる事務所に併設している療育施設 地域生活支援事業 地域活動支援センターぱれっと (C) 34名	(D) 津久見市、臼杵市、佐伯市に居住する当該施設に通所する児童と家族 (E) 発達支援事業及び放課後デイサービス事業に登録している方28名 年間延べ人数 4,518名 地域生活支援事業 契約利用者 15名	77,358
児童館、放課後児童健全育成事業	子育て支援している団体やサークル等への支援及び青江小学校に通う子どもの放課後及び長期休暇中にお預かりし、健全な育成活動を行う。	(A) 4月1日から翌年3月31日まで開設 (B) 主たる事務所に併設している児童クラブ (C) 6名	(D) 育児サークルの会員及び児童クラブに登録している児童と家族 (E) 利用者延べ人数 10,277名	11,633

母親クラブ	子育てをしている仲間で相互の悩みや相談活動及び交流活動を行う。	実施していません。		—
障害者の地域への参画促進と障害に関する啓発活動	虐待事例を通して障がいのある方の地域での生活に必要な支援や地域の資源を考えるフォーラムと映画上映。	新型コロナウイルス感染症予防のため自粛		0

# 令和3年度 活動計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人やまびこクラブ  
(単位：円)

科目	金額	
I 経常収益		
1 受取会費		
入会金収入	13,000	13,000
2 受取助成金等		
障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス事業収入	77,358,478	
放課後児童健全育成事業収入	10,833,400	
放課後児童健全育成事業収入（感染症対策事業費補助金）	800,000	88,991,878
3 負担金収入		
利用者負担金収入	4,294,006	4,294,006
4 事業収益		
事業収益	5,214,959	5,214,959
5 寄付金収入		
寄付金収入	390,000	390,000
6 その他収益		
受取利息	116	
雑収益	96,200	96,316
経常収益計		99,000,159
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	59,776,014	
臨時雇賃金	304,030	
法定福利費	5,776,891	
人件費計	65,856,935	
(2) その他経費		
旅費交通費	10,310	
通信運搬費	5,185,178	
消耗什器備品費	1,071,230	
消耗品費	800,849	
修繕費	113,410	
印刷製本費	175,465	
水道光熱費	2,597,724	
賃借料	6,604,918	
保険料	266,500	
租税公課	197,200	
教材費	747,310	
行事費	242,449	
給食材料費	4,777,290	
雑費	153,091	
その他経費計	22,942,924	
事業費計		88,799,859
2 管理費		
(1) 人件費		
福利厚生費	244,020	
人件費計	244,020	
(2) その他経費		
通信運搬費	710,218	
消耗什器備品費	880,000	
消耗品費	145,759	
修繕費	206,470	
賃借料	1,344,000	
保険料	899,272	
租税公課	130,050	
諸会費	201,000	
支払利息	49,315	
雑費	1,106,394	
その他経費計	5,672,478	
管理費計		5,916,498
経常費用計		94,716,357
当期経常増減額		4,283,802
III その他資金収入		
1 短期借入金収入	5,000,000	5,000,000
その他資金収入計		5,000,000
IV その他資金支出		
1 車輛運搬具購入支出	1,000,000	1,000,000
その他資金支出計		1,000,000

# 令和3年度 活動計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人やまびこクラブ  
(単位：円)

科目	金額		
当期収支差額			8,283,802
前期繰越収支差額			3,602,710
次期繰越収支差額			11,886,512
V 資産増加額			
1 当期収支差額	8,283,802		
2 車輛運搬具購入額	1,000,000	9,283,802	
資産増加額計			9,283,802
VI 負債増加額			
1 短期借入金増加額	5,000,000	5,000,000	
負債増加額計			5,000,000
当期正味財産増減額			4,283,802
前期繰越正味財産額			24,910,711
次期繰越正味財産額			29,194,513

# 令和3年度 貸借対照表

令和4年3月31日現在

特定非営利活動法人やまびこクラブ  
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	18,348,771		
未収金	18,837,597		
前払金	100,000		
立替金	279,898		
仮払金	48,752		
流動資産合計		37,615,018	
2 固定資産			
(1) 有形固定資産			
車両運搬具	6,006,820		
什器備品	1,380,624		
有形固定資産計	7,387,444		
固定資産合計		7,387,444	
資産合計			45,002,462
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	6,122,875		
預り金	635,074		
短期借入金	5,000,000		
流動負債合計		11,757,949	
2 固定負債			
長期借入金	4,050,000		
固定負債合計		4,050,000	
負債合計			15,807,949
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		24,910,711	
当期正味財産増減額		4,283,802	
正味財産合計			29,194,513
負債及び正味財産合計			45,002,462

# 令和3年度 財産目録

令和4年3月31日現在

特定非営利活動法人やまびこクラブ  
(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
手元現金	177,171	
大分銀行普通預金	17,734,815	
九州労働金庫普通預金	436,785	
未収金		
未収金	18,837,597	
前払金		
前払金	100,000	
立替金		
立替金	279,898	
仮払金		
仮払金	48,752	
流動資産合計		37,615,018
2 固定資産		
(1) 有形固定資産		
車両運搬具	6,006,820	
什器備品		
ジョイントコーナーマット	280,000	
ガスオープンレンジ	261,724	
ノートパソコン	137,300	
テラステント	399,600	
机・椅子等	302,000	
有形固定資産計	7,387,444	
固定資産合計		7,387,444
資産合計		45,002,462
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金		
給料手当等	4,245,122	
その他諸経費	1,877,753	
預り金		
源泉所得税預り金	57,670	
市県民税預り金	157,000	
従業員預り金	420,404	
短期借入金		
短期借入金	5,000,000	
流動負債合計		11,757,949
2 固定負債		
長期借入金		
個人借入金	4,050,000	
固定負債合計		4,050,000
負債合計		15,807,949
正味財産		29,194,513